

---最終号---

ひすい俱楽部

2024

2

No. 408

JAひすい

特集●JAひすいの歴史を顧みる

営農情報●糸魚川の畑と食卓を結ぶお店 「合併後のひすい食彩館の運営について」

教えて!食育ソムリエさん●シイタケ

いつも健やか●便潜血は大腸癌早期発見の手がかり



わたし
が
生
ま
れ
た
時

今月の
わんぱくキッズ!
wanpaku kid's

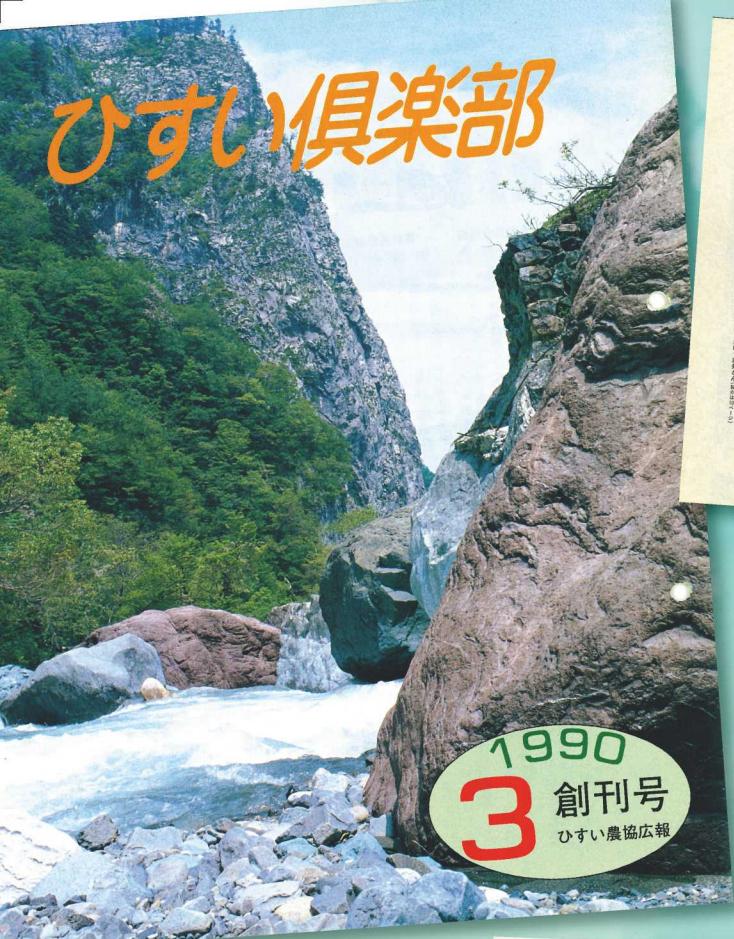
(12ページで紹介)

いもうと
が
生
ま
れ
た
時

わたし

いもうと

34年間、ありがとうございました



The image shows the front cover of a magazine titled "JAひすい俱楽部" (No. 39). The title is at the top in large orange letters. Below it is a black and white photograph of a young woman with long dark hair, smiling. She is wearing a light-colored, short-sleeved sweater with horizontal stripes. The background of the photo is a blurred outdoor scene with greenery and rocks. In the bottom right corner of the cover, there is a large red number "5". On the left edge of the cover, there is vertical text that appears to be part of the title or a subtitle, possibly "JAひすい俱楽部 第39号" (Issue 39).

The cover of the Hisui club magazine features a woman in a blue apron harvesting strawberries from a patch. A large, close-up image of a ripe red strawberry with green leaves is overlaid on the top left. The title 'ひすい俱楽部' is written in large green stylized letters above 'Hisui club'. In the top right corner, there is a circular graphic containing the text '2004 3 March' and 'No.193'. Below the main photo, the text 'お日様をたっぷり浴びて、とっても甘いですよ!' is displayed. The left side of the cover has a column of text under the heading '目次 contents'.

特集

J Aひすいの歴史を顧みる

平成2年3月1日、糸魚川市内の5農協が合併し、誕生したJAひすい。組合員、地域の皆様に親しまれ、共に歩んだ34年間を振り返ります。

さて、JAひすいは、平成2年3月に糸魚川市内5JAが合併し設立され以来、長い歴史を刻んできましたが、本年3月1日にJAえちご上越と合併し、新生「えちご上越農業協同組合」(JAえちご上越)として新たにスタートすることになりました。設立からこれまでの間、日々変化する経済情勢や組合員意識が多様化する中で、JAの使命である農業所得の増大や農業生産の拡大、そして地域社会への適切なサービスの提供を将来にわたり継続していく事を念頭に置き、事業に取り組んで参りました。34年間にわたりJAひすいを支えていただきました組合員・地域の皆様に心から感謝申し上げます。

新たにスタートするJAえちご上越では、組合員・地域の皆様のお力を借りしながら、地域農業を発展させ、豊かな地域社会の実現を目指し役職員が一丸となつて業務を進めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。組合員との架け橋として発行してきた「ひすい俱乐部」は、本号をもちまして最終号となります。それぞれの思い出を振り返つていただく機会になれば幸いです。3月からは新たな企画で、上越地域の農業等に関する記事を掲載させていただきます。長い間のご愛読に感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

広報紙ひすい俱楽部 最終号にあたり

ひすい農業協同組合
代表理事組合長

吉原 勝廣





▲指定整備工場認定の看板を受け取る山岸組合長



▲第1回農業まつりでの無料おにぎり配布



▲女性部第1回の学習会で「身近な薬草で健康作り」についての講義を聞く参加者



◀JAひすい産コシヒカリ特選米「おまんた」



▲車検千台到達記念式典

平成2年3月	ひすい農業協同組合が発足。6部19支所3事業所体制で事業を開始（糸魚川市農協、糸魚川農協、能生町農協、能生谷農協、新潟青海町農協の5農協が合併）
遠田廣則氏	が組合長に就任
11月	第1回農業まつりを開催
平成3年4月	第1回通常総代会を開催（糸魚川勤労者体育センターにて）
山岸利幸氏	が組合長に就任
平成4年4月	農協の愛称として「JA」が誕生
平成5年12月	能生自動車農機センターが桂に新築移転オープン
平成6年11月	能生谷ライスセンターの能力増強工事が完了
平成9年5月	中川原事業所が閉店
8月	J Aひすい産コシヒカリ特選米の名称が一般公募により「おまんた」に決定
平成10年3月	共済専任涉外「ライフアドバイザー」を新設
4月	米炊飯事業を開始。管内4校の小中学校に炊きたてのご飯を届ける
6月	広報紙「ひすい俱楽部」創刊100号を迎える
11月	能生自動車センターが指定整備工場の認可を受ける
平成11年6月	女性部学習会を初開催（糸魚川市民会館にて）
10月	青海支所が新築移転オープン
平成12年2月	能生自動車センターで車検台数千台到達記念式典を開催
5月	岩崎満氏が代表理事組合長に就任
10月	ふれあい介護センター「愛あい」オープン
11月	第10回農業まつりを開催



▲176人が参加した農業体験ツアー



▲アクアホールで開催した
ファッショナサロン



◀第10回農業まつり（能生地区）
での綱引き



▲女性部による被災地に贈るおにぎり作り



▲大町にオープンしたひすい食彩館

JJAひすいの部会設立の歴史

部会名	設立
水稻採種組合	昭和37年
能生地区生産組合	
糸魚川地区受託組合	
菌茸部会	平成2年
能生地区園芸組合	
畜産部会	
花クラブひすい	8年
丸なす部会	11年
産直運営協議会	13年
早川園芸組合	
メロン俱楽部ひすい	15年
糸魚川産米ブランド化研究会	23年
糸魚川産新之助研究会	28年
業務用米研究会	30年
農業生産組織連絡協議会	31年

平成13年3月	本所・支所の名称を「本店・支店」に変更
下早川支店	が新築オープン
6月	農産物直売所「ひすい食彩館」が大町にオープン
9月	大和川に精米施設を新設稼働
11月	県下全JJAを結ぶネットバンキングが開始
平成14年6月	セレモニーホールひすい「ひすい館」が南押上にオープン
平成15年3月	山口店、小滝店、藤崎店、上能生店が閉店
10月	全支店内で全面禁煙となる
9月	新潟県中越沖地震の被災地へJJAひすい女性部より炊き出しおにぎり5000個を贈る
平成16年3月	グリーンセンターが大和川と能生にオープン



▲東日本大震災の緊急募金の様子



▲セレモニーホールフローリアで行った
第1回お菓子まつり



▲聖学院中学校農村体験



◀糸魚川産コシヒカリ「ひすいの里」



▲地産地消推進店に認定されたひすい食彩館

平成17年2月	五十嵐忠義氏が組合長に就任
6月	いなほ俳句会創立30周年記念句会・総会を開催
平成18年7月	支店再編により9支店8店体制から7支店体制への移行を目指す。筒石店が閉店
根知支店が姫川支店に名称を変更	ひすい食彩館が大町より南寺町に移転オープン
平成19年3月	下早川支店が早川支店に名称を変更。木浦、溝尾店が閉店
本・西海・大野・今井・西能生・須沢が閉店)。訪問宅配サービスを開始	姫川支店が大野に移転し、7支店体制となる(上早川・浦
5月	磯谷祐一氏が組合長に就任
8月	セレモニーホールひすい「フローリア館」が南押上にオープン
平成20年9月	J Aひすい産コシヒカリ特選米「おまんた」の名称を一新し「ひすいの里」が誕生
12月	投資信託の取扱いを開始
平成22年2月	セレモニーホールフローリア「東館」「会食館」が完成。
8月	第1回大地の恵みフォトコンテストを開催
平成23年3月	東日本大震災の発生に伴い、緊急募金、支援物資の提供、節電対策を行う
平成25年5月	月岡精一氏が組合長に就任
平成26年11月	ひすい食彩館が糸魚川市の地産地消推進店に認定される
平成27年8月	公式フェイスブックによる情報発信を開始
平成28年5月	吉原勝廣氏が組合長に就任
6月	女性部「第1回事務局企画旅行」を実施。長野県への日帰り旅行に9グループ36人が参加



▲ひすい食彩館の東寺町への新築移転オープン初日の様子



▲表彰を受けた新之助研究会メンバー

◀越の丸茄子栽培40周年記念式典



▲第30回農業まつり（糸魚川・青海地区）



▲ひかり支店新築オープン

令和6年3月1日 JAえちご上越と合併

平成28年9月	聖学院中学校農村体験学習30周年を迎える。フォッサマグナミュージアム前に記念碑を建立
12月	糸魚川大火が発生。糸魚川支店が被災し、仮設店舗での営業となる
平成29年7月	糸魚川支店をリニューアルオープン
平成30年2月	全組合員アンケートを実施。JA自己改革の取り組みに対する意見を聞き取る
平成31年2月	當農生活センターが大和川に新築移転オープン
令和2年1月	糸魚川産新之助研究会が新潟県から優良表彰を受ける
10月	ひすい食彩館が東寺町に新築移転オープン
12月	越の丸茄子栽培40周年記念式典を開催
令和3年12月	能生支店を新築移転オープン
	YouTubeチャンネル「みんなの農機」で動画配信を開始
令和4年4月	大和川支店が「ひかり支店」に名称を変更。當農生活センター隣に新築オープン
6月	4支店3相談プラザでの営業を開始（早川・姫川・能生谷支店が相談プラザに移行）
令和5年2月	同報無線放送が終了
3月	公式LINEで情報配信を開始
10月	臨時総代会を開催。上越地区JA合併についての議案決議投票を行い可決する
11月	第30回農業まつりを開催

糸魚川の畑と食卓を結ぶお店

「合併後のひすい食彩館の運営について」

J Aひすいは、令和6年3月、合併により新たな「JAえちご上越」としてスタートします。「ひすい食彩館」につきましては、合併後も大きな変更はございません。

引き続き多くの生産者より、出荷いただければ幸いです。

また、継続して新規産直会員も受付しております。

◆農産物直売所「ひすい食彩館」について

◆産直会員について

管内の生産者（産直会員）が栽培した農産物や、農産物を利用した加工品を中心販売を行っている農産物直売所です。

・会員資格

地場生産物を出荷する管内の生産者及び園芸組合員

・年会費

2,000円

・販売手数料

販売代金の15%
(令和6年度初回会員登録時は10%)

・販売代金の精算

毎月月末締め

翌月8日に指定口座へ振込

産直会員の組織である「産直運営協議会」と、JAが一体となり店舗の運営・管理を行っています。

・産直会員数

216名（令和5年12月末現在）

・所在地

糸魚川市東寺町1丁目6番64号

・営業日

1月1～3日と2月末日以外

・営業時間

午前9時～午後5時
(7月～8月は午後6時迄営業)

◆産直会員募集について

家庭菜園を行っている方でも、農産物や加工品を出荷・販売を希望する方は大歓迎です。女性や高齢の方でも大丈夫です。

産直会員の中にも、経営として本格的に販売を行っている方もいれば、経験や特技を生かして自分の加工品を販売する方、趣味を生かして山で採った山菜を販売する方など、いろいろな方がいらっしゃいます。

詳しくは、左記までご連絡ください。

ひすい食彩館

TEL：025-553-0050



教えて!

食育ソムリエさん

「シイタケ」

シイタケは香り高く風味の良い日本特産のキノコです。周年収穫する菌床栽培と、春（3月頃から）・秋（9月頃から）に収穫する原木栽培があります。

【栄養】

シイタケや舞茸に多く含まれるβ-グルカンは、食物繊維の一つで、免疫細胞を活性化する働きがあります。干しシイタケには血糖値の上昇を緩やかにするビタミンDが含まれており、カルシウムの吸収も助けます。シイタケ特有の成分にはエリタデニンがあり、悪玉コレステロールを低下させる働きがあります。血流を良くし、血圧を低下させることから、動脈硬化や高血圧予防効果が期待できます。

【選び方】

かさにふくらと丸みがあり、縁が内側に巻いているものを選びましょう。かさは開いていない状態がベストです。軸が太く短いもの、裏側のひだが白くきれいなものが良い品です。

【保存】

生のものは石づきを上にして保存容器に入れ、野菜室で冷蔵します。冷凍する際は適当な大きさに切って保存し、調理の際は解凍せず、そのまま使用してください。干しシイタケにするのもおすすめです。かさを下にして数時間日光に当てるだけでも栄養価が高くなり、水分が少し飛んで保存性も上がります。干しシイタケのうま味を引き出すには、水に浸して冷蔵庫に入れ、じっくり戻しましょう。

【下ごしらえ】

水で洗わず、キッチンペーパーや布巾で軽く拭いてください。汚れがついている時は、キッチンペーパー（布巾）を湿らせて使いましょう。

食育ソムリエの調理メモ



<材料> (2人分)	
シイタケ	400g
醤油	大さじ1
マヨネーズ	小さじ1
にんにく	4片程度
片栗粉	大さじ3~4
サラダ油	適量
レモン	適量

シイタケのから揚げ

- ① シイタケの石づきと軸を切り、食べやすい大きさに切る。
- ② 袋に切ったシイタケ、軸、醤油、マヨネーズ、みじん切りにしたにんにくを入れ、揉む。
- ③ 片栗粉をまぶし、揚げ焼きにする。
- ④ 油を切り、皿に盛ったら完成。お好みでレモンをしぼる。



ひすい食彩館
食育ソムリエ 竹内 和世



食育ソムリエのマーク





J A 新潟厚生連糸魚川総合病院
内科医師 石坂 栄規

便潜血は大腸癌早期発見の手がかり

便潜血とは読んで字の如く「便に潜む血液」であり、見た目は赤くないのに便の中に少量の血液でも混じっていると陽性と言われます。便潜血が陽性の場合は大腸から出血がおきている状態であり、大腸癌が隠れている可能性があります。そのほか炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローリン病)や良性の大腸ポリープ、痔なども可能性として挙げられます。硬い便により肛門が切れて、便に血液が付着し陽性となることがよくあります。

便潜血の検査は人間ドックや検診の項目に含まれています。基本的には1日1回容器に便を採取して2セットを検査に出します。2回行う理由は大腸癌の発見を見逃さない

ためです。2回のうち1回でも陽性になれば、精密検査を行うように2次検診の受診を指示されます。その場合、詳しい検査として大腸カメラで直接大腸内を観察することで正確に出血の状態を把握することが可能となります。大腸癌が見つかった時の進行段階で治療方法は異なり、早い段階で見つかるとそれだけ根治的な治療の可能性が上がります。

大腸癌の発生は50歳頃から年齢が上がるにつれて増えてきます。血縁者に大腸癌の方がいる場合も注意が必要です。当てはまる方はぜひ便潜血検査を受けてみてはどうですか。陽性と言われたら、ぜひ大腸カメラができる病院までお越しください。

糸魚川総合病院の休診日は土曜、日曜、祝日です。

愛あいニュース



～福祉用具・介護用品・補聴器・電動カートのことならふれあい介護センターへ～

ワセリン 880円(税込)

- ・お肌に優しい精製方法で、不純物を取り除いています。
- ・刺激が少なく、敏感肌の方も安心してご使用いただけます。
- ・ワセリンが肌に油の膜を作ることにより、保湿と保護の役割をします。
- ・なるべく薄く塗り、こまめに塗り直すことをおすすめします。

内容量：100g
製造元：大洋製薬株式会社

「ふれあい介護センター愛あい」を今後ともよろしくお願ひいたします。

【ふれあい介護センター愛あい（営農生活センター内）】**配達無料**
ご注文・お問い合わせ先：0120-972-943（通話料無料）
営業時間：月～金曜日 8:30～17:00 （新潟県介護保険事業者）

電動カート
試乗できます

マスク
除菌用品
あります

お知らせ掲示板

JJA合併に伴う出資金の残高通知書について

JJAひすい組合員の出資金については、令和6年3月1日のJJA合併により全額をJJAえちご上越に引き継ぎます。JJAえちご上越として新たに「出資金残高通知書」を発行し、3月以降組合員の皆様宛に送付いたしますので、ご承知おきください。よろしくお願ひいたします。

各施設の休業について

介護センター、グリーンセンター大和川店、ひすい食彩館、能生給油所は、内部作業のため、下記のとおり終日休業となります。

休業日

令和6年2月29日(木)

グリーンセンター能生店 冬季休業について

休業期間

令和5年12月～令和6年2月末

資材の購入・配達等は、グリーンセンター大和川店で対応いたします。



編集室

広報紙「ひすい俱楽部」は今回が最後の発行です。広報担当者になって4年間、様々な場所へ取材にお邪魔し、その度に組合員・地域の皆様・職員の優しさに支えられてきました。ご協力いただき、本当にありがとうございました!今回の特集では、JJAひすいの34年間の歴史を振り返りました。過去の出来事を調べてまとめるのは大変な作業でしたが、読者の皆様には「懐かしいな」「こんな事があったんだ」と思っていただけたら幸いです。⑦



JJAカレンダー

2月

6日 訪問日～8日

10日 自動車センター営業

17日 葬儀・法要事前相談会

24日 自動車センター営業

3月の訪問日は

1日(金)～8日(金)を予定しています。

※訪問日は毎月1日～10日頃の実施に変更になります。



理事会 だより

12月

主な協議事項

(第11回理事会)

- ①固定資産減損会計の対応について
- ②不良債権の処理方針について(新規発生)
- ③令和5年産米の仮渡金の改定について
- ④令和6年度農業施設の整備計画について
- ⑤新たな上刈倉庫の整備について

※上記の協議事項は、理事会において
全て承認されました

私たちのJJA

● 組合員数

11,390人

(正組合員) 2,471人

(准組合員) 8,919人

● 出資金

11億5,607万円

● 賯金

902億4,630万円

● 貸出金

148億9,867万円

● 購買品供給高

20億3,254万円

● 販売品販売高

3億1,905万円

(令和5年12月末現在)

wanpaku kid's わんぱくキッズ!

りん
凛ちゃん
(3歳)

すず
鈴ちゃん
(6ヶ月)

☆年齢は表紙
写真撮影時
のものです。



↑鈴を初めて抱っこ!
お姉ちゃんになったよ♪



↑「鈴をよく見てくれて助かる」ってママに言われたよ!

両親: 山崎祐修さん・木の実さん (ひかり支店管内・滝川原)

わたしは「凛」。妹の「鈴」はわたしと同じ6月生まれで、誕生日が4日違いなの。鈴が泣いている時は、音の出るおもちゃであやしたりしているよ! お姉ちゃんになったけれど、寝る時はいつもママと一緒に♪ 最近のマイブームはパパから教えてもらったジンガ。この前はパパと勝負して勝てる、とっても嬉しかったよ!

アイドルグループのBTSが好きで、7人全員の名前を言えるよ。韓国のコンサートで大好きなメンバー・ジョングクに会うのがわたしの夢。保育園に行く時も、テレビに映るBTSに「行ってきます」って挨拶してから出発してるんだ♪

ペット自慢



↑チャームポイントは、ふわふわの毛並みと綺麗な瞳の色よ。



↑ママの姪っ子が作ってくれた、段ボールのお家。

名前
まひる
真昼

ラガマフィン
4歳(メス)

今月の 一枚

～入賞～

むらすづめ
「群雀」

加藤 貞信さん

【コメント】

雪の積もった田んぼを背に、雀達が柿の木の枝にそろってとまっていました。チュンチュンというさえずりを今でも思い出します。知人に勧められて応募しましたが、今まで何気なく撮影していた写真が認められ、とても嬉しいです。

JAひすいのオリジナルカレンダーを飾る
毎月の写真と撮影者の声を紹介します。

糸魚川の 大地の恵み



撮影場所: 青海地区 須沢

ひすい倶楽部 No.408 令和6年2月発行

■発行/JAひすい 糸魚川市大町1-3-4 TEL 025-552-0317

■ホームページアドレス <http://www.ja-hisui.or.jp>

■メールアドレス soumu@ja-hisui.or.jp ■印刷/株式会社 DI Palette



FSC®認証紙とは、原材料として使用されている木材が適切に管理された森林に由来することを意味します。



温室効果ガス排出量削減のため
に、植物由来の原料を配合した
印刷インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。